

# 島根県消防学校だより vol.3

## 初任教育第53期『卒業式』



### ～卒業展示～

訓練礼式は、通常点検～中隊訓練 停止間の動作～小隊訓練 行進間の動作～分列行進を行いました。初任科生らしい元気な動きの中にも、消防士としてのキビキビとした節度ある行動に心がけ、43名の足音が一つになりました。

救助訓練は、主塔と副塔をフルに使い「登る」・「渡る」・「降りる」の12種類の基本手技を披露しました。スピードよりも確実性を重視し、ぎこちないところもありましたが、全員でトライし無事にやり遂げました。

ポンプ操法は、「小型ポンプ操法」を2班が披露しました。県大会さながらの切れとスピードのある動きで、練習のとき以上にすばやく火点的を倒すことができました。

消防演習は、防火衣と呼吸器を着装して車両に乗車し、サイレンを鳴らしながらの緊急走行。現場のような緊迫した状況を設定し、スタートしました。初めに検索救助・援護注水の展示を行い、次に主塔と副塔を使つての火災想定訓練を行いました。途中で「応急はしご救出」や「抱え救出」を盛り込み、最後は7線一斉放水で演習の幕を閉じました。

### ～屋内式典～



屋内訓練場で行われた式典では、渡部校長から「外には謙虚な気持ちを持ち、内には自信と誇りを持って」と「不撓不屈の精神で何事にも正面からぶつかれ」の二点について式辞がありました。また、卒業生を代表して総代 池西雄一（出雲消防）が謝辞で、津和野町の豪雨災害でボランティアに参加したことについて「人のために行動する尊さを学んだ」と6ヶ月を振り返りました。優秀賞は、西本拓磨（江津消防）、葉末真広（大田消防）、長瀬大輔（出雲消防）、山川遼（松江消防）の4人が受賞しました。

9月26日（木）真っ青な秋空のもと 初任教育第53期生（前期43名）の卒業式を、多くの消防関係者や家族が見守る中、盛大に挙行致しました。屋内の式典に先立ち、9時から「卒業展示」で、訓練礼式～救助訓練～ポンプ操法～消防演習をそれぞれ順次展示しました。6ヶ月間の集大成を披露する場とあって、学生の緊張もMAX状態ではありましたが、キビキビとした元気っぱいの動きに、見学者の方々から盛大な拍手を頂きました。その後、屋内訓練場において「卒業式典」を行いました。以前は講堂で行っていましたが、出来るだけ多くの方に見て頂こうということで、急きょ会場を屋内訓練場に変更いたしました。そのかいあって、200席用意した家族席はほぼ満席状態。本当にたくさんの方々に来て頂きました。校長から一人ひとりに卒業証書が手渡され、来賓の島根県知事（代理、山口消防総務課長）と石飛島根県消防長会長（松江市消防長）から、お祝いの言葉を頂き、厳粛に式典を終えました。





## 救急科第15期 入校式



9月30日(月)消防職員専科教育「救急科 第15期」の入校式を行いました。先週 初任科を卒業したばかりの43名と松江市消防本部の初任科後期8名、第八管区海上保安本部職員1名の計52名で、11月25日までの約2ヶ月間の日程で救急隊員としての基礎教育を受けます。時代は今、救急需要の増大と救急の高度化が進展。職員には、基本的な正しい医学知識と、現場での確に対応できる救急スキルが求められています。

総代に葉末真広(大田消防)、副総代に山川遼(松江消防)、八原涼(隠岐消防)が、それぞれ任命されました。

## スーパー体力練成! ~暑さにも負けずやり遂げました!~

9月13日(金)、卒業前の恒例行事「宍道湖1周 スーパー体力練成!」を行いました。午前6時に2班に分かれてスタートし、午後1時頃のゴールを目指しました。当日の最高気温は、平年よりも5.3度も高い32.6度のうだるような猛暑。そのためか思うようにスピードも上がらず、また中間のペースに合わせるため疲れは2倍増し。ゴール後のバーベキューだけを楽しみに、仲間の背中をひたすら追いかけ、午後2時過ぎには無事全員完走しました。



## 津和野町へ「災害ボランティア」



8月7日(水)、7月末に起きた津和野町での土砂災害の「災害ボランティア」に行き、民家に流れ込んだ土砂の除去や壊れた家具・畳の撤去などを行いました。被災地に実際に行き、自分の目で見ることで、そして地域の人と協力して働くことは、なかなか経験できることではないと思います。「被災された人たちのために、自分たちが今出来ることをする。させていただく。」という貴重な機会を得たことは、今後の消防で活動していく上で大きな財産になりました。

## お知らせ

消防学校の校舎も建設から25年が経過し、外壁・屋根などに損傷が発生していることから、管理棟・寮棟・屋内訓練場の補修工事を行います。11月ごろから2月末まで、建物の外回りに足場を組み工事を致しますので、出入り口や駐車スペースにおいて、一部使用制限します。ご不便をおかけしますが、ご協力よろしくお願い致します。



## 編集後記(事務局より)

第53期初任科生43名(前期)は、所定のカリキュラムに基づく厳しい訓練と知識の習得を経て、このたび全員卒業の日を迎えました。思い返せば、夏は熱中症になる学生が続出するなど、自分の体力の限界を知ることも訓練の一環でした。学生たちの「不撓不屈」の精神を垣間見た思いがします。卒業は万感の思いでありましょう。ひとまわり大きくなった学生たちを見て、こちらも目頭が熱くなってきました。卒業で自信を付けた学生たちの今後の益々の発展と、第15期救急科生たちの今後の実り多き教育を切望する次第です。

## 島根県消防学校

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-157

E-mail: syobogako@pref.shimane.lg.jp

Tel: 0852-22-0166